

横須賀三浦・湘南地域
普通科・専門学科併置校
（三浦臨海高校・平塚農業高校初声分校）
設置計画

平成29年3月
神奈川県教育委員会

1 対象校・位置・実施年度

- (1) 対象校 三浦臨海高等学校 平塚農業高等学校初声分校
(2) 位置 三浦臨海高等学校敷地（三浦市初声町入江274-2）
＊平塚農業高等学校初声分校（三浦市初声町和田3023-1）の敷地、施設をあわせて活用
(3) 実施年度 平成30年度

2 設置の目的

- これまで両校が取り組んできた地域で活躍する人材育成に向けた多様な教育の成果を踏まえ、普通科では単位制普通科による教育活動を行うとともに、都市農業科では、専門性をいかして横須賀・三浦地域の主要産業の一つである農業の人材育成の拠点としての教育に取り組む。
- 地域に根ざした学校として、両学科の特色をいかすとともに、生徒の多様な進路希望を実現する実習・体験を重視した教育活動を展開し、生徒一人ひとりの個性を伸長する教育をめざす。

3 基本的コンセプト

- 単位制による全日制の普通科と専門学科とを併置する県立高校として教育を展開する。
- 学科併置の特色をいかした幅広い教育活動の展開
学科併置の特色をいかし、普通科と都市農業科の教育内容を充実、発展させるとともに、相互の学科の教科・科目を履修できるよう単位制による教育課程を編成し、一人ひとりの興味・関心や幅広い進路希望に対応できる教育活動を展開する。
- 普通科としての学習の取組みと教育の展開
共通教科・科目による教育課程を編成し、主体的に学び、考え、行動することができ、かつ規範意識や社会性を身に付け、社会で活躍できる実践力を有する、コミュニケーション能力豊かな人間の育成をめざす。
- 都市農業科としての学習の取組と教育の展開
三浦半島の農業を支える人材の育成を図るとともに、都市農業に必要な知識と技術を学び、製造業や販売業などが関わりあう6次産業化にも対応した人材の育成をめざす。

○ 特別活動等の活性化

柔軟な教育課程の編成を行うとともに、これまで両校が取り組んできた地域との連携をいかした生徒会活動や学校行事、部活動などを積極的に展開する。

4 設置形態

- (1) 課 程 単位制による全日制の課程
 (2) 学 科 普通科
 都市農業科(農業に関する学科)
 (3) 学校規模 全日制の課程 840～960名(21～24学級規模程度)
 普通科 720～840名
 (各年次240～280名 6～7学級規模程度)
 都市農業科 120名(各年次40名 1学級規模程度)
 ※学級規模は予定であり、入学定員の発表時に確定
 (4) 修業年限 3年 在学年限は原則として6年
 (5) 学 期 2学期制
 (6) 履修形態 学科ごとの科目を中心とした必修科目及び選択科目による履修
 (7) 授業展開 50分6限を基本とし、必要に応じて弾力的な授業時間を設定
 <日課表> (予定)

	(月)～(金)
ショートホームルーム	8:40～8:50
1 校 時	8:50～9:40
2 校 時	9:50～10:40
3 校 時	10:50～11:40
4 校 時	11:50～12:40
昼休み・清掃	12:40～13:40
5 校 時	13:40～14:30
6 校 時	14:40～15:30
ショートホームルーム	15:30～15:35

5 入学者選抜

- (1) 募集の区分 一般募集(中学校卒業見込み者及び中学校既卒業者)
 (2) 選抜の区分 共通選抜
 (3) 選考の方法 事前に公表した「公立高等学校入学者選抜選考基準」に基づいて、選考する。

6 教育課程

(1) 基本の方針

- 高等学校在籍3年以上で、必修科目を履修し、高等学校学習指導要領に基づいて学校において定めた卒業までに修得させる単位数を修得することで卒業とする。
- 普通科においては、生徒に高度な普通教育を施し、一般的な教養を高めるとともに、進路希望の実現に向けた科目構成を基本とし、共通教科の科目を中心に編成し、学校設定教科・科目については、精選を図る。
- 都市農業科において、専門教育に関する教科・科目の履修については、25単位を下らないこととする。
- 生徒一人ひとりの将来の進路について、体系的なキャリア教育の推進を行い、都市農業科におけるインターンシップについては、地域産業界との連携により、中・長期間実施できるシステム（デュアルシステム）を活用する。

※ デュアルシステム：若年者向けの実践的な教育・職業能力開発の仕組みとして、企業での実習と学校での講義等の教育を組み合わせることで実施することにより若者を一人前の職業人に育てるしくみのこと。

(2) 教育展開の方針

- 各学科において、基礎的な科目から応用・発展的な科目を設置し、系統的な教育の展開を図る。
- 普通科と都市農業科の併置の特色をいかし、普通科の生徒が農業科目を選択できるようにすることで興味・関心の幅を広げることができ、都市農業科の生徒が普通科の教科・科目を選択できるようにすることで、進学をはじめとした幅広い進路希望に応えることのできる教育を展開する。
- 地域の特性を活用した県立高校生学習活動コンソーシアムによる教育を展開する。
- 基礎学力の定着・応用力の伸長を保障し、生徒の多様な進路希望の実現を図る。
また、地域に根ざした学校として、地域に愛着を持ち、地域で活躍する人材を育成する。
- 都市農業科においては、地域農業のスペシャリスト（農業後継者、新規農業参入者、就職就農者、食品産業や環境創造産業の担い手）を育成する。
- 年次進行型の単位制において、毎日のSHRや清掃、充実したLHR等を実現するための日課表等を工夫する。

(3) 編成の方針

- 単位制の利点をいかしつつ、年次ごとに共通に学ぶ科目を定めることを基本とした教育課程による「年次進行型」での運用に取り組む。
※ 年次進行型については、必履修科目を中心に一定の科目を年次進行にしたがって履修する。
- 単位制の利点をいかした生徒の卒業や単位認定に関する弾力的な運用を行う。
- 科目選択においては、学校目標などに基づき、生徒の選択状況等を十分に勘案し、進路希望の実現に向けたきめ細かい履修指導を行う。
- 必履修科目、学科専門科目、自由選択科目で構成する。
- 1・2年次に基礎・基本となる科目を設置する。
- 県立高校生学習活動コンソーシアムの活用など、学校外での学習成果による単位認定を行う。
- 併置の特色をいかして、生徒交流などを図るうえで、教育活動の展開方法について工夫する。
- 集中講座など、柔軟な履修形態による学習活動を展開する。
- 対象校両校の施設・設備の活用を踏まえた教育課程の運用を工夫する。

(4) 教育課程表 (予定)

○普通科

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
普通科	1 年次	国語総合 ④			日本史 A ②		現代 社会 ②		数学Ⅰ ③			数学A ②		化学 基礎 ②		体育 ②		保健 ①	音楽Ⅰ /美術Ⅰ /工芸Ⅰ /書道Ⅰ ②		コミュニケーション 英語Ⅰ ④				家庭 総合 ②		社会と 情報 ②		総合 的な 学習 の時間 ①	L H R ①	
	2 年次	現代文 A ②	世界史 A ②		数学Ⅱ ④			生物 基礎 ②		物理 基礎 ②		体育 ②		保健 ①	コミュニケーション 英語Ⅱ ③		家庭 総合 ②		自由選択Ⅰ ④～⑧										総合 的な 学習 の時間 ①	L H R ①	
				数学基礎α (前期) ②		数学基礎β (後期) ②				地学 基礎 ②																					
	3 年次	現代文B ③		体育 ③			コミュニケーション 英語Ⅲ ③		自由選択Ⅱ ⑫～⑰										総合 的な 学習 の時間 ①										L H R ①		
				実用英語 ③																											

◇ 2年次自由選択Ⅰ (4～8単位)

国語表現②、古典A②、日本史B④、地理A②、政治・経済②、数学B②、数学研究A②、一般数学②※、化学基礎探究②※、化学④※、スポーツ科学②、マリンスポーツ（集中講座）①、音楽Ⅱ②、美術Ⅱ②、工芸Ⅱ②、書道Ⅱ②、英語表現Ⅰ②、農業基礎②、自然と農業②※、子どもの発達と保育②、スポーツⅡ②

◇ 3年次自由選択Ⅱ (12～19単位)

国語表現②、古典B④、郷土文学（半期）①、世界史B④、日本史B④、地理B④、世界史研究②、日本史研究②、郷土史（半期）①、倫理②、政治・経済②、政治経済研究②、時事問題（半期）①、数学Ⅱ④、数学Ⅲ⑥、数学B②、一般数学②※、数学研究A②※、数学研究B②、科学と人間生活②、物理④、生物④※、地学④、化学基礎探究②※、生物基礎探究②※、物理研究②、化学研究②、生物研究②、地学研究②、体のしくみ②、マリンアクティビティ（集中講座）①、音楽Ⅲ②、美術Ⅲ②、英語表現Ⅱ④、英語会話②、英語研究②※、英文読解研究②※、コンピュータ演習A②、食品流通②※、植物デザイン②※、植物バイオテクノロジー②※、子どもの発達と保育②、ファッション造形基礎②、フードデザイン②、幼児教育実習（集中講座）①、社会福祉基礎②

※…都市農業科との共通選択科目。

※ 2年次及び3年次の自由選択から合計20単位以上を履修する。

○都市農業科

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
都市農業科	1 年次	国語総合 ②	現代社会 ②		数学Ⅰ ③		化学基礎 ②		生物基礎 ②		体育 ②		保健 ①	音楽Ⅰ /美術Ⅰ /工芸Ⅰ /書道Ⅰ ②	コミュニケーション 英語Ⅰ ③		家庭基礎 ②		農業と環境 ④			総合実習 ②			必修 選択Ⅰ ②		L H R ①				
	2 年次	国語総合 ②	世界史 A ②		数学A ②		体育 ③		保健 ①	コミュニケーション 英語Ⅱ ③		農業 情報 処理 ②		総合 実習 ②		農業科 選択Ⅰ ②		プロジェクト実践 ⑥			園芸 科学 ②			必修 選択Ⅱ ②		L H R ①					
	3 年次	現代文 A ②	日本史 A ②		地理A ②		科学と 人間 生活 ②		体育 ②		英語表現Ⅰ ③		課題研究 ⑥			農業科 選択Ⅱ ②		選択実習 ④			自由選択 ①, ②, ④			L H R ①							

◇ 1 年次必修選択

必修選択Ⅰ	コミュニケーション②、自然と農業②*
-------	--------------------

◇ 2 年次必修選択

農業科選択Ⅰ	畜産②、農業機械②、食品製造②
必修選択Ⅱ	一般数学②*、化学基礎探究②*、生物基礎探究②*、植物デザイン②*、植物バイオテクノロジー②*

◇ 3 年次必修選択

農業科選択Ⅱ	生物活用②、グリーンライフ②、農業経営②
選択実習	野菜④、果樹④、草花④

◇ 3 年次自由選択（0，2，4単位）（2単位科目は2科目選択可能）

自由選択	数学研究A②*、化学④*、生物④*、英語研究②*、英文読解研究②*、食品流通②*、植物バイオテクノロジー②*
------	--

*…普通科との共通選択科目。

※ 総合的な学習の時間は、課題研究の履修をもって替える。

（○囲いの数字は単位数）

※ 教育課程表は予定であり、変更することがある。

普通科と都市農業科の併置の特色をいかした選択科目について

普通科・都市農業科の併置の特色をいかし、普通科の生徒が農業科目の選択を可能とすることで興味・関心の幅を広げられるようにするとともに、都市農業科における個々の進路希望に対応した共通教科・科目の選択を可能とする教育課程を編成するため、次のような科目を設置する。

<主な科目>

英文読解研究	…	コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱで学習した内容を基に、ハイレベルの英文を読み解くことで読解力を養う。また、英語による多様な表現方法を身に付け、進学にも対応し、将来にもいかせる実践力を育てる。
自然と農業	…	野菜の栽培や炭焼き、果樹の剪定などの農業実習や里山の管理、自然観察などを通して農業や自然科学についての基礎的な知識と技術を習得させる。また、様々な年齢の人々と交流を持つことで、広い視野やコミュニケーション能力を育てる。
植物バイオテクノロジー	…	植物に関する基礎・基本的なバイオテクノロジーの知識と技術を習得させ、植物体の特性とバイオテクノロジーの特質を理解させる。また、生物工学実験室での実験・実習を通して、生物に係る産業の各分野で活用する能力と態度を育てる。

(5) 学習指導の工夫

- 課題の発見と解決に向けた主体的・協働的な学習活動の展開に取り組み、知識の質や量を改善するとともに、学びの質や深まりを重視した指導方法等の充実を図る。
- 自らの進路希望や学習目的に基づいて、主体的に学習を進めることができるよう、また、基本的な内容から発展的な内容を含め、生徒一人ひとりの個性と能力の伸長を図ることができるよう指導する。
- 専門科目の展開では、実習・体験などの学習活動を充実させるとともに、一人ひとりの学習ニーズに応じたきめ細かい指導が実施できるよう配慮する。

(6) 生徒指導等の工夫

- 地域で活躍する人材の育成と地域から信頼される学校づくりに向け、基本的なルールと規範意識を身に付けるよう、きめ細かな生徒指導に取り組む。
- 特別活動（ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事等）や部活動等の集団活動を通して、さまざまな個性を相互に尊重し、自立とより良い人間関係の構築をめざす指導を行う。

- 生徒の状況を的確に把握し、さまざまな課題を抱える生徒に対して、一人ひとりに応じた適切な配慮や支援を、学校全体で行う体制を整える。
- 教師と生徒との信頼関係及び生徒相互の好ましい人間関係を育て、他者への思いやりと自分を大切にすることを育成する。
- 社会適応能力の伸長をめざして、学科の特色をいかした地域連携活動を活性化させ、ボランティア活動や地域への貢献活動に取り組む。

(7) 進路指導の工夫

- 生徒が自己のあり方、生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じてキャリア教育を推進するとともに、生徒一人ひとりの進路目標の実現を図るため、計画的、組織的な進路指導を行う。
- 教育課程や学習指導と一体化したきめ細かい指導や進路希望に対応したガイダンスの機能の充実を図るなど支援体制を確立する。

(8) 学校経営

- 学校教育計画に基づき、学校評価や第三者評価の取組みをいかすなどして、一層充実した自律的・組織的な学校経営に取り組む。

7 施設・設備の整備

- 両校の統合による普通教育及び専門教育の展開に必要な施設・設備の整備を行う。

8 その他

- 普通科及び専門学科の教育の展開に必要な職員の配置を行う。



神奈川県

教育委員会教育局指導部高校教育課
高校教育企画室高校教育企画グループ 電話(045)210-8254(直通)
横浜市中区日本大通 33 〒231-8509 FAX(045)210-8922
電話(045)210-1111(代表) 内線 8255・8256